



こども こうちょうしつだより

こさき こうじ より

せん せい しか 先生が叱らなければならないとき

がっこう きょうしよくいん とく たんにん せんせい つぎ こども しか
学校の教職員，特に担任の先生は，次のようなとき，子供を叱らなければ
いけません。これは，ほめることとおなじように，子供たちを立派に育てるために必要な
しごと せんせい しごと しか
「仕事」なのです。ほめるのは先生にとってもうれしい仕事ですが，叱るのは，とてもつら
しごと
い仕事です。

- ひと ころ きず ひと わる わ
1. 人の心を傷つけることをしてしまった人に，悪いことだと分かってもらいたいとき。
いじわる かな おも ひと たす
○意地悪やいじめで悲しい思いをする人を助けるため。
わる ひと たいせつ じゃあく ころ きれい ころ
○悪いことをした人も大切なので，邪悪な心から綺麗な心にもどってもらうため。
- じこ ふせ あぶ らんぼう ひと はんせい
2. けがや事故を防ぐために，危ないことや乱暴なことをする人に反省してもらいたいとき。
あんぜん いのち まも なに ゆうせん
○安全や命を守ることは，何よりも優先されます。

- ほか ひと がくしゅうけん べんきよう ひと じやま けんり まも
3. 他の人の学習権（勉強したい人が邪魔をされない権利）を守るため。
ひとり せんせい おおせい こども せわ せんせい ひと じ
○一人の先生が大勢の子供の世話をしています。先生を独り占めすることはできません。
がっこう ほか ひと べんきよう じやま
○学校では，他の人の勉強の邪魔をするようなことをしてはいけません。
じやま ひと がくしゅうけん がくしゅうぎむ にほん こども がっこう べんきよう
○邪魔をしている人にも学習権と学習義務（日本の子供は学校で勉強
しなければなりません）はあります。そのことも分かってもらって，自分のために勉強
わ じぶん べんきよう
してもらいたいから叱ります。

たんにん せんせい こおりやましようがっこう しょくいんぜんいん おな きも しごと
担任の先生だけでなく，郡山小学校の職員全員が，同じ気持ちで仕事
たいせつ こども こ しょうらい
をしています。大切な子供たちみんなにいい子になってもらって，みんなで，将来のため
べんきよう とき きび
になる勉強をしっかりとできるように，時には厳しくしなければなりません。

「うるさい親ほど，あたたかい」という言葉があります。皆さんの家でも同じだと思いま
みな たいせつ あい わる なお
す。皆さんがかわいいから，大切だから，愛しているからこそ，悪いときには直してほし
おも
いと思うのです。

こども おとな きも かんが すなお たが きょうりよく
子供もそんな大人の気持ちを考えて，素直になって，お互いに協力していけると
いいですね。